

## 【石川県プログラム紹介】

石川県内でも特に人口減少が進む能登半島。先進国で初めて世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」に代表される豊かな自然環境や日本遺産に認定された「キリコ祭り」など、日本の原風景ともいえるべき素朴な景観、祭りなどすばらしい資源を数多く持ち合わせています。

能登半島の最果て・珠洲市では、瀬戸内国際芸術祭などを成功させた北川フラム氏を総合ディレクターに迎え、本年秋に「奥能登国際芸術祭」を開催します。芸術祭の「サポーター」として活動に関わり、土地・生活・人々の魅力を再発見するため参加するアーティストの作品ガイドや、地域住民との交流を通じて、地域課題の解決を図ります。

また、全国有数のイカ漁獲高を誇る能登町では、日本百景の一つである九十九湾に漁業や海洋レジャーなどを活かした観光交流センター「イカの駅」の整備計画（H31年度オープン予定）が進められており、地域住民による運営方法や地域資源を生かした体験メニューや商品開発について、学生と地域住民と一緒に検討を進めます。

このほか、第三セクター「のと鉄道」では、北陸新幹線金沢開業にあわせ観光列車「のと里山里海号」を導入し、団体客数を3万人増の約7万人（H27年度）にしたという実績を上げています。こうした現場も学びながら、課題解決につなげます。